エコウイングあかし

「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2018年11月 3日（土・祝） 10時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	ｴｺｳｲﾝｸﾞ会員／8名（午後のみ参加 1名）、事務局／1名　　計／9名

● 午前

今日の金ヶ崎公園の活動は、さわやかな秋晴れに恵まれ、絶好の活動日和になりました。今月から朝の開始時刻を1時間繰り下げて、10時に8名のメンバーが集まりました。9月は「昆虫大捜査線」の予定が台風で中止となり、10月は雨模様の中で「環境フェア」用のどんぐり拾いだけをしただけでしたので、3ヶ月ぶりの通常活動となりました。

いつものようにミーティングの後、公園内のコースを一巡りして昆虫を中心とした自然観察をしました。開始時の気温はやや低かったものの、日差しが届いて次第に暖かくなり、チョウやトンボなど色々な昆虫が姿を見せました。

● 午後

午後は、メンバー1人が加わり、最初に公園の水路に侵入している特定外来植物のホテイアオイやオオフサモの除去をしました。その後、散策路を巡って周辺で繁ってきている常緑樹や小さな竹などの除伐、台風による落下枝の片付けなどに取り組みました。最後に集合写真を撮って活動を終えました。

● 次回の活動は12月1日（土）の予定です。そろそろ冬の気配も感じられるころと思われますが、今年最後の活動になります。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

朝のミーティング

自然観察（その1）

自然観察（その2）

外来植物の除去作業

常緑樹などの除伐作業（その１）

常緑樹などの除伐作業（その２）

落下枝の処理作業

参加者全員の集合写真

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記（その１）

今日の観察会で、最初に姿を見せた昆虫は精悍な顔をしたオオカマキリでした。産卵直後なのか、すぐ近くに真新しい卵塊がありました。その他にチョウやガ、トンボ、コウチュウ、カメムシなどのなかも色々と観察しました。１１月に入りましたが、好天に恵まれて日差しも届き、気温もやや高めだったため、その温かさに誘われて、思った以上に多くの種類の昆虫が姿を見せてくれました。

この夏に見つけた、公園奥のコナラの木のキイロスズメバチの巣は、さらに大きくなっていましたが、ハチの姿は見当たりませんでした。しかし、オオスズメバチは樹液が出ているアベマキの木の根元などに何匹も確認しました。

精悍な顔のオオカマキリ

ムラサキシジミ

落ち葉のようなクロコノマチョウ

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記（その2）

ウラギンシジミ

テングチョウ

キタキチョウ

チャバネセセリ

ウスキツバメエダシャク（翅損傷）

キクキンウワバ

リスアカネのペア

アオイトトンボ

エビイロカメムシ

クモヘリカメムシ

ヨコヅナサシガメの幼虫

クビキリギス

エンマコオロギの♀

アベマキの樹液に集まるオオスズメバチ

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記（その3）

ヒメバチのなかま

ホソヒラタアブ

キゴシハナアブの♂

オオフタホシヒラタアブ

コカブトのメス（左）とオス（右）

キイロスズメバチの巣

野鳥では、秋の渡りの途中と思われるメボソムシクイが観察できました。ふもとの北浦池ではカワセミやバンが姿を見せました。秋も深まり、モズも木の梢で高鳴きをしていました。上空を飛んでいるミサゴの姿も見つけました。

そのほかに、暖かさに誘われて這い出してきたたカナヘビも観察できました。

メボソムシクイ

カワセミ

バン

モズ

上空を飛ぶミサゴ

カナヘビ

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記（その4）

植物では、ホトトギスの花が咲き、クサギが実をつけていました。また一株だけですが、シダのなかまのフユノハナワラビが胞子葉を伸ばしているも見つかりました。

ホトトギスの花

ヒヨドリバナの花

クサギの実

フユノハナワラビの胞子葉